第１学年　社会科（地理的分野）学習指導案

１．単元名　　「工業を視点にアメリカを知ろう！」

２．単元目標と評価

（１）目標

アメリカでの大量生産・大量消費という「生産」と「消費」の関係性を理解し、工業を視点にアメリカの地域的特色を知る。また、日本の工業との比較からアメリカの工業の発展に、地理的環境や世界各地からの移民の存在も影響を与えたということに気付かせ、アメリカの地域ごとの工業がどのように発展していったのかを考察することができる。

（２）評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
○　自分たちの生活と、アメリカの工業とがどのように関わっているのかに興味を持ち、積極的にアメリカの工業や地域的特色についてより深く知ろうとしている。	○　アメリカのそれぞれの地域ごとの工業が、どのように発展していったのかを、地理的要因や移民の存在などから考察し、自分なりの考えをまとめて発表することができる。	○　資料集や教科書・地図帳などから、工業地域の交通や地理的環境・工業地域の特色を読み取ることできる。 ○　グラフなどからアメリカと他国の規模の大きさを比較し、アメリカ工業の特徴を読み取ることができる。	○　アメリカの工業郡がどのようなところにあり、それぞれの地域の特色はなにか、それらの発展に必要となった条件は何かを理解し考察することができる。 ○　工業を視点にアメリカの地域的特色を理解することができる。

３．単元について

本単元は、中学校学習指導要領社会科編の地理的分野の「（１）世界の様々な地域」の「内容　ウ．世界の諸地域：各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる」のうち、(エ)北アメリカに関わる内容である。（エ）北アメリカの地域的特色を理解するにあたり、工業の発展を主題に置き単元を進めていく。ここでは、アメリカ州の地域的特色を理解させたい。そのために、基礎的・基本的な知識を習得させる学習を行うようにしたい。その後、

学習した知識を活用して、地理的事象を取り上げ、地域的特色が明らかになるような学習を展開させていく。また、州の地域的特色では州をさらに区分したり、小地域の偏った特色を網羅的に細かく学習していったりしていくことは避けるものとする。アメリカの場合地域ごとに大きくブロック分けされて特色を見出すことができる。それにより本単元では、スノーベルト・サンベルトという大きく 2 地域に分けて、それぞれの特色を関連付けながら学習していく。シリコンバレーに関してはサンベルトに含む地域として取り上げるものとする。

アメリカは世界最大の工業力を持ち、巨大な多国籍企業が国際的に活動している。この発展の背景には、アメリカの広大な国土と豊かな資源、世界各国からの移民の存在が重要となっている。今日ではアジア系移民がアメリカで工業や情報系の学問を学び情報技術産業を支えるようになった。

また、アメリカでは五大湖沿岸の重工業地帯であるスノーベルトから、北緯 37 度以南の南西部諸州のサンベルトでのハイテク産業へと工業中心地が移動している。アメリカは多くの鉱産資源が開発され、それらを基にして大西洋岸や五大湖沿岸で自動車などの重工業が発展し、アメリカは経済的にも世界に誇れる国となった。しかし、20 世紀になるとスノーベルト工業地帯は停滞し、新たに情報通信技術の発展が期待されるようになった。アメリカでは科学技術の研究と開発が盛んとなり、この分野においてアメリカは最先端の位置につくこととなった。そして、これらの情報技術産業が集まる地域はサンベルトと呼ばれ、航空宇宙産業もある。また、シリコンバレーには多くのコンピューター関連産業の会社が集まっている。

このようなアメリカの工業の発展の様子を教科書や資料集などから考察し、アメリカの工業の特徴について学んでいく。また、アメリカ州の地域的特色を理解するにあたり、一つの観点ではなく様々な観点からとらえていく姿勢が求められる。具体的には、前回までの学習ではアメリカの農業について触れているため、その観点を自然的特色とともに関連付けていきたい。

この時期、生徒はアメリカ州以外の州の地域的特色について学習を進めてきており、世界地図・地図帳などの活用に関しては慣れてきた頃であろう。だが、これらの資料を有効に活用し、取り上げた主題に関連した地理的事象を考察し表現していくことに関しては、不十分である。そのため、地理的事象・地理的特色や社会的事象を説明させることを通して社会的な見方や考え方を養うといった、言語活動の充実を重視していく。また、生徒全員が集中した授業を行うために、教師側の指示一貫する。作業に取り掛かる際には一斉に始めさせ、作業をやめさせる際には「ペンを置いて。」「前を見て。」などの声掛けを徹底していく。生徒が今何をする時間であるのかが分からなくなる、というような環境を作らないためにも明確な指示を出すようにし、教師側もテンポよく授業を進めていくよう心掛ける。生徒一人ひとりの発言や気づきを大切にし、学習に対して高い意欲を持てるようにさせたい。

４．指導計画

次	時数	主な学習活動	各時間の評価規準
1	1	○アメリカの工業に興味・関心を持つ。 ・日常生活の中で、身の回りにあるアメリカ製品を見つけることにより、アメリカではどのような製品が生産されているのかを知る。 ・それらの製品の特徴を知り、どのようなまとまり(グループ)に分けられるのかを考え、グループごとに名前を付ける。 ・それぞれのグループの製品は、アメリカ州のどの地域で生産されたものなのかを地図に記入する。 ・アメリカ工業がそれぞれの地域で、どのような特徴を持って展開されているのかを学習していく意欲付けをする。	◎自分達の生活の中で、アメリカ工業がどのように関わっているのか興味を持っている。【関心・意欲・態度】 A：自分の知っているアメリカ製品を挙げ、それらがどの地域で生産されどのような特徴があるのか意欲をもって調べようとしている。 B：自分の知っているアメリカ製品を挙げ、どのような特徴があるのかを調べようとしている。 C:教科書や助言でヒントを与える。（支援を必要としている生徒に対して。） ◎アメリカの製品が製品されている場所とアメリカの地図とを照らし合わせ、それぞれに特徴はあるのかを考えられている。【思考・判断・表現】 A：主に２つの地域に分ける事ができることに気が付き、それらの特徴について考えている。 B：製品のまとまりごとの特徴について考えている。 C：どのようなまとまりに分ける事ができるかを考えさせる。
2	2	《課題：アメリカの工業の地域ごとの特徴をしろう！》 ○アメリカの工業の特徴を具体的に理解する。 ・アメリカ工業と地図を照らし合わせ、読み取れることをまとめる。 ・それぞれの工業地帯の特徴について具	◎資料集や地図帳を使って、アメリカ工業の発達の様子について読み取ることができる。【資料活用の技能】 A：付近に発達している交通網や自然環境・地形を知り、どのような条件が整うとどのような種類の工業が発達するのか考える。 B：資料から、その地域に発達してい

		体的に理解する。（スノーベルト→重工業・自動車工業／サンベルト→電子工業・宇宙産業） ・それぞれの工業地帯の発展の様子について教科書や資料集等のグラフから読みとりまとめる。 ・シリコンバレーとシリコンアイランドの比較から、同種の工業生産品を生産していても自然条件・人文、社会条件によって生産規模が変化することを理解する。 ・アメリカ工業の発展の様子から、考えられることについてまとめて発表しあう。	る工業を読み取ることができる。 C：資料をどのように参考にすれば良いのか助言する。 ◎アメリカ工業の発展の様子を自分なりに考察し、まとめている。【思考・判断・表現】 A:日本の工業との違いや、産業の中心地が移動していることに気づき、発展の様子について考察している。 B：地域ごとの特徴の違いなどから考察している。 C：友達の考えを参考にさせて考えさせる。
3	3	《課題：アメリカ工業の中心地が、スノーベルトからサンベルトに移動したのはなぜだろう！》 〇アメリカ工業の発展の様子について、より深く考察する。 ・課題に対して自分なりの予想を立てる。 ・学習したアメリカ工業の分布の特徴について振り返り、それぞれの特徴を比較する。 ・アメリカ工業の中心地の移動の背景には、スノーベルトが衰えたこと、サンベルトが成長していったことが影響していることに気づく。 ＊スノーベルト→歴史が古いため、鉄鉱石が枯れてしまったことや賃金が高かったこと、主な産業であった鉄鋼・自動車産業が日本や欧州との競争に勝てなかった。 ＊サンベルト→南部は気候条件に恵まれ	◎アメリカの工業の中心地がスノーベルトからサンベルトの移動した理由について考える事ができる。 A：気候や生産の需要から移動していることに気が付き、根拠をもって自分の意見を考える事ができる。 B：教科書の記述をもとに考えをまとめる事ができる。 C：それぞれの工業地域にはどのような違いがあったかを思い出させ、どのような生産需要があるのかを考えられる様助言する。 ◎工業を視点にアメリカ工業の地域的特徴について理解する事ができる。 A：アメリカ工業の特徴について地域ごとにどのような特徴があり、発展に必要となった条件は何か理解する事で、アメリカの地域的特徴を理解できる。

		ていたため、宇宙開発部門で有利であった。南部諸州では移民などの低賃金労働者が多く、工業立地には好条件であった。温暖で晴天の多い気候は電子工業の技術者に好まれ、シリコンバレーに代表される電子工業の集積地が多く生まれた。 ・自分の予想を見直し、再度課題に対する考えをまとめさせる。 ・考えたことをもとにアメリカ工業について、アメリカ人になったつもりで周りの生徒に紹介する。	B：アメリカ工業の地域ごとの特徴について理解しアメリカの地域的特色についてわかる。 C：アメリカ工業の地域ごとの特色は何か振り返らせる。

５．本時の学習（１／３）

（１）目標

・日常生活と、アメリカ製の工業製品が関わっていることに気が付き、アメリカの工業について興味をもつ。

・アメリカの製品が製品されている場所とアメリカの地図とを照らし合わせ、それぞれに特徴はあるのかを考える。

（２）評価規準

・自分達の生活の中で、アメリカ工業がどのように関わっているのか興味を持っているか。【関心・意欲・態度】

・アメリカの製品が製品されている場所とアメリカの地図とを照らし合わせ、それぞれに特徴はあるのかを考えられているか。【思考・判断・表現】

（３）準備

・アメリカの白地図

・アメリカの工業製品の写真

（デトロイトの自動車、製鉄所、スペースシャトル、航空機、IC）

・ワークシート

（４）本時の展開

過程 (時配)	教師の指導	生徒の活動	☆指導所の留意点 ★評価
事 象 提 示 ４０ 分	○アメリカ製品の写真を黒板に提示し、必要な意見を板書する。アメリカの製品に関する写真を提示して(一部→全体)アメリカ製品について知る。	○出てきた製品をワークシートに記入する。 ・車!スペースシャトル! ・最近 iPhone5 が出たよね。 ・飛行機を使った事ある。	☆記入を指示。 ★自分達の生活の中で、アメリカ工業がどのように関わっているのか興味を持っているか。【関心・意欲・態度】
	○これらの製品の特徴を考えさせ、班で話し合い、グル―プ分けさせる。 ・生活班の隊形にさせる。 ・何故そのグループに分けたのか理由をきちんと考えさせ、その特徴にあった名前をつけさせ班ごとに発表させる。 「出てきた製品について特徴ごとにグループ分けしてみよう。それぞれにどんな特徴があるかな。それぞれにあった名前もつけてみよう。」 ・必要な部分は板書する。	○事象について考える。 ・自動車と iPhone は違うよね。 ・航空機とスペースシャトルは似ているね。 ・IC と iPhone は似ているかも！ ・精密な機械とそうでないものに分けられるかな？ ・自動車は重工業だね！ ・精密機械グループ、重工業グループ、航空関係グループ！ ・小さい製品グループ、大きい製品グループ。	☆特徴から考えさせ、それからグループわけをさせる。 ☆航空機と自動車が同じグループにした場合は、航空というキーワードを出す。または、コックピットの写真を見せて精密な機械が使われていることに気付かせる。 ☆理由をきちんと考えさせる。 ☆ヒントとして生産過程を考えさせる。
	○アメリカの白地図にそれぞれの製品の生産地を記入させる。	○教科書や資料集などから生産地を調べ、ワークシートに記入する。	☆資料集や地図帳を参考にさせる。

	○黒板に白地図を用意し生産地を確認させる。それらから分かることを考えさせる。 「生産地を地図で確認してみよう。」 「地図で確認してみたけど、なにか分かったことはあったかな？」	・自動車はデトロイト。 ・ICはシリコンバレーだからカルフォルニア。 ・スペースシャトルはフロリダ？ ・航空機はカルフォルニアでICと一緒だね！ ・場所に決まりはあるのかな？ ・他にもなにか特徴はあるのかな。	☆生徒に一旦ワークシートに記入させてから、ポストイット(６色)を黒板の白地図に貼り、発表させる。 ★アメリカの製品が生産されている場所とアメリカの地図とを照らし合わせ、それぞれに特徴はあるのかを考えられているか。【思考・判断・表現】
課題提示 １０分	○課題提示 課題：アメリカの工業の地域ごとの特徴をしろう！	○課題を把握する ・事象提示での疑問から、次回の学習に対して意欲を持つ。	☆ワークシートに今日の学習の振り返りを記入させ、次回の学習の意欲付けをする。

（５）板書計画

☆アメリカの工業製品

☆グループにわけてみよう!
Ａグループ・Ｂグループ
Ｃグループ・Ｄグループ

★白地図に記入してみよう!

白地図

課題
アメリカの工業の地域ごとの特徴を知ろう!

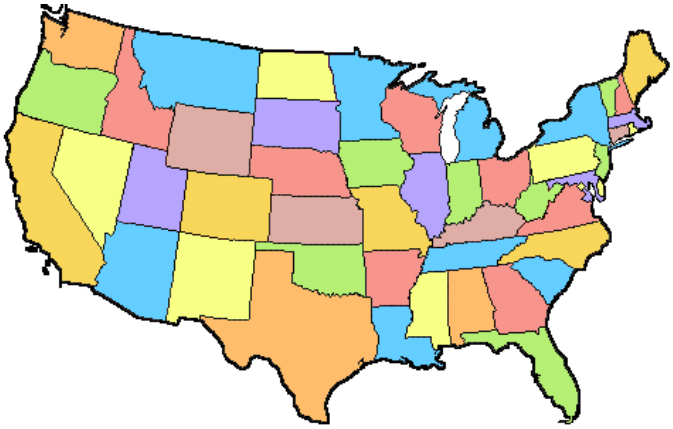
◎空いたスペースには、生徒の発言や意見を必要であれば板書する。

（６）資料

＊資料①

◎デトロイトの自動車・スペースシャトル・iPhone
航空機

＊アメリカ州白地図



工業を視点にアメリカ州を知ろう!

１年（　　）組（　　）番　氏名（　　）

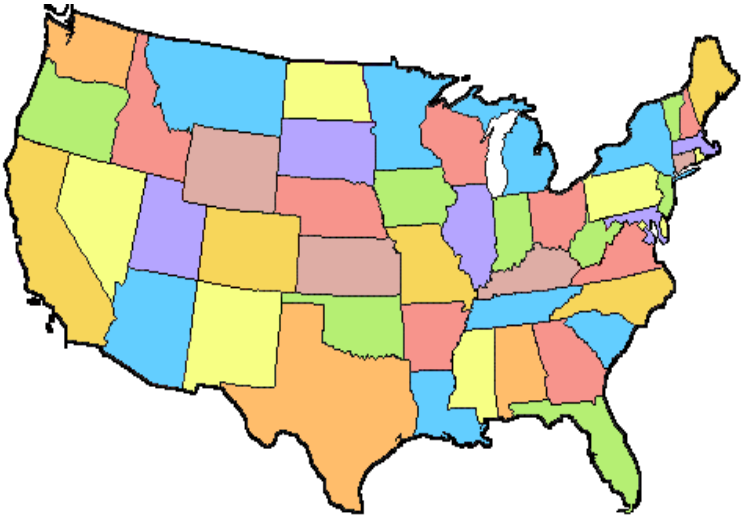
① アメリカの製品は何かな？知っている製品を書き出し、隣に特徴を書こう。

アメリカの製品	特徴

②アメリカの製品①で書き出したものをグループ分けして、名前をつけよう。
＊グループはいくつでも OK!!　理由もきちんと考えること。

名前			
製品			
理由	なぜなら、	なぜなら、	なぜなら、

③製品の生産地を白地図に記入してみよう。＊作業から気付いたことは何かな？



◎気付いたこと